

ディーゴ ガイド



2026.9.14-20

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior
Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II
Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(1〜3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

L T G Guide

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をさがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?) 1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

Cell Group Guide

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?

Family Worship

(ディボーション範囲一部抜粋)

5:23 マナセの半部族の人々は、バシヤンからバアル・ヘルモン、セニル、ヘルモン山に至る地に住み、その数は多かった。

5:24 彼らの一族のかしらたちは次のとおり。エフェル、イシュイ、エリエル、アズリエル、エレミヤ、ホダウヤ、ヤフディエル。この人たちは勇士で、名のある人たちであり、その一族のかしらであった。

5:25 ところが、彼らはその父祖の神の信頼を裏切り、神が彼らの前から根絶やしにされたその地の民の神々を慕って淫行をした。

5:26 そこで、イスラエルの神は、アッシリアの王プルの霊、すなわちアッシリアの王ティグラト・ピレセルの霊を奮い立たせられた。それで彼は、ルベン人とガド人、およびマナセの半部族を捕らえ移し、彼らをハラフ、ハボル、ハラ、ゴザンの川に連れて行った。今日もそのままである。

「今日もそのままである。」というその状態が、なぜ起きたのかが書かれています。見える現象だけですと、各国の王が攻めて来たとしか取れませんが、しかし、そこには神様が関与しておられたのです。その原因は「その地の神々を慕って不貞を犯した。」ことでした。

人間関係でも、仕事でも、子育て、健康でも、あらゆることに主は関わっておられますから、主の御手を認めましょう。そして確かな主の御心を知って、最善を行いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 15日 火曜

歴代 I



(ディボーション範囲の一部抜粋)

9:26 門衛の長である四人のレビ人は信任を得て、神の宮の脇部屋および宝物倉を受け持った。

9:27 彼らは神の宮の周りで夜を過ごした。彼らには任務が課せられていて、朝ごとに鍵を開けたからである。

ダビデやソロモンのように華々しく書かれている者もありますが、この箇所のようにほとんど知られていない人の記述もあります。しかし彼らは「勇士たち」と書かれています。

宮の宝物倉をつかさどるというのは、地味な仕事です。しかし、このような日常の、そして地味は仕事が大切なのです。

教会の働きや、また人生でも、目立つ人やほめられやすい立場があるでしょうが、主は目立たない人をしっかりと見ておられます。そしてその信仰ゆえの忠実な働きに対して、「勇士」と言ってくださるのです。

自分に課せられた普通の働きを、主の栄光のゆえに喜びとして、忠実に行っていきましょう。それがとても重要なことなのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 16日 水曜

歴代 I



(ディボーション範囲の一部抜粋)

10:13 このように、サウルは【主】の信頼を裏切った不信の罪のゆえに死んだ。彼は【主】のこたばを守らず、霊媒に伺いを立てることまでして、

10:14 【主】に尋ねることをしなかった。そのため、主は彼を殺し、王位をエッサイの子ダビデに回された。

サウルはダビデを殺そうするなど、多くの罪を犯しましたが、ここではその最たるものが「霊媒によって伺いを立て…」とあります。主との関係が大切で、それが行いに表れてくるということです。

私たちの信仰生活も、何か特別な出来事に目が向きがちですが、日頃からの主との交わりに着目しましょう。主のみを信頼しているかどうか。その信頼ゆえに、主への礼拝と祈りをささげているかどうか、見えるところに表れるのですから。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



17日 木曜

歴代 I



11:1 全イスラエルは、ヘブロンのだビデのもとに集まってこう言った。「ご覧ください。私たちはあなたの骨肉です。」

11:2 これまで、サウルが王であったときでさえ、イスラエルを動かしていたのはあなたでした。あなたの神、【主】はあなたに言われました。『あなたがわたしの民イスラエルを牧し、あなたがわたしの民イスラエルの君主となる』と。」

11:3 イスラエルの全長老はヘブロンのもとの王のもとにきた。だビデはヘブロンで、【主】の御前に彼らと契約を結び、彼らはサムエルによる【主】のことはのとおり、だビデに油を注いでイスラエルの王とした。

11:4 だビデと全イスラエルはエルサレム、すなわちエブスに行った。そこには、その地の住民であるエブス人がいた。

11:5 エブスの住民はだビデに言った。「おまえは、ここに攻めて来ることなどできない。」しかし、だビデはシオンの要害を攻め取った。これがだビデの町である。

11:6 そのとき、だビデは言った。「だれでも最初にエブス人を討つ者がかしらとなり、長となる。」ツェルヤの子ヨアブが最初に攻め上ったので、彼がかしらとなった。

11:7 だビデはこの要害に住んだ。それゆえ、これはだビデの町と呼ばれた。

11:8 彼は、町の周りに城壁を、ミロから一周するまで築いた。町のほかの部分はヨアブが築き直した。

11:9 だビデはますます大いなる者となり、万軍の【主】が彼とともにおられた。

だビデが王とされ、その後、エルサレムを攻め取って都としました。

だビデの繁栄は、主に従ったことです。また主の助けをもらったことです。その二つが今の私たちにも必要です。家族、勉学、仕事などで主は繁栄を用意しておられます。それは主の御心です。だビデに倣いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



18日 金曜

歴代 I

11:10 ダビデの勇士のかしらたちは次のとおりである。彼らは、ダビデとともにその王権を強固にし、全イスラエルとともに、イスラエルについての【主】のこたばのとおり、彼を王とした人々である。

11:11 ダビデの勇士たちの名簿は次のとおりである。補佐官のかしら、ハクモニの子ヤショブアム。彼は槍を振るって一度に三百人を刺し殺した。

11:12 彼の次は、アホアハ人ドドの子エルアザル。彼は三勇士の一人であった。

11:13 彼がダビデとともにパス・ダミムにいたとき、ペリシテ人が戦うためにそこに集まった。そこには、大麦が豊かに実った畑があった。兵はペリシテ人の前から逃げたが、11:14 彼らはその畑の真ん中に踏みとどまってこれを守り、ペリシテ人を討った。【主】は大勝利をもって救われた。

11:15 三十人のかしらの中のこの三人は、岩場にあるアドラムの洞穴にいるダビデのところに下って来た。ペリシテ人の陣営はレファイムの谷間に敷かれていた。

11:16 そのときダビデは要害にいて、ペリシテ人の守備隊はそのときベツレヘムにいた。

11:17 ダビデは切に望んで、「だれか私に、ベツレヘムの門にある井戸の水を飲ませてくれたらよいのだが」と言った。

11:18 三人はペリシテ人の陣営を突き破って、ベツレヘムの門にある井戸から水を汲み、それを携えてダビデのところに持って来た。しかしダビデはそれを飲もうとはせず、それを【主】の前に注いで、

11:19 こう言った。「そんなことをするなど、



私の神の御前に、絶対にできない。いのちをかけて行った人たちの血を、どうして飲めるだろうか。彼らは、いのちをかけてこれを運んで来てくれたのだ。」彼はそれを飲もうとはしなかった。三勇士は、そのようなことまでしたのである。

ダビデの勇士たちの功績が書かれています。特に印象的なのは、命がけの水をダビデが主にささげたことです。

ダビデは大いに好かれ、尊敬されていたでしょうが、それを自分のものとはしませんでした。主への栄光としたのです。

私たちも、自分への栄光や利益をそのようにしなくてはなりません。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



19日 土曜

歴代 I

11:20 さて、ヨアブの兄弟アビシヤイは三十人のかしらであった。彼は槍を振るって三百人を刺し殺し、あの三人とともに名をあげた。

11:21 彼は三十人の中で二倍の誉れを受けていたので、彼らの長になったが、あの三人には及ばなかった。

11:22 エホヤダの子ベナヤは、カブツエル出身で、多くの手柄を立てた力ある人であった。彼はモアブの英雄二人を打ち殺した。また、ある雪の日に、洞穴の中に下りて行って雄獅子を打ち殺した。

11:23 彼はまた、身長が五キュビトもあるエジプト人を打ち殺した。このエジプト人は、手に機織りの巻き棒のような槍を持っていた。ベナヤは杖を持ってその男のところまで下って行き、エジプト人の手から槍をもぎ取って、その槍で彼を殺した。

11:24 エホヤダの子ベナヤはこれらのことをして、三勇士とともに名をあげた。

11:25 彼はあの三十人の中でも最も誉れが高かったが、あの三人には及ばなかった。ダビデは彼を自分の護衛長にした。

11:26 勇士たちは次のとおりである。ヨアブの兄弟アサエル。ベツレヘム出身のドドの子エルハナン。

11:27 ハロリ人シャモテ。ペロニ人ヘレツ。

11:28 テコア人イケシュの子イラ。アナトテ人アビエゼル。

11:29 フシャ人シベカイ。アホアハ人イライ。11:30 ネットファ人マフライ。ネットファ人バーナの子ヘレデ。

11:31 ギブア出身のベニヤミン族リバイの子



イタイ。ピルアトン人ベナヤ。

11:32 ガアシュの谷の出であるフライ。アルバト人アビエル。

11:33 バハルム人アズマウエテ。シャルビム人エルヤフバ。

11:34 ギゾ人ハシエムの息子たち。ハラル人シャゲの子ヨナタン。

11:35 ハラル人サカルの子アヒアム。ウルの子エリファル。

11:36 メケラテ人ヘフェル。ペロン人アヒヤ。

11:37 カルメル人ヘツロ。エズバイの子アライ。

11:38 ナタンの兄弟ヨエル。ハグリの子ミブハル。

11:39 アンモン人ツエレク。ツエルヤの子ヨアブの道具持ち、ベエロテ人ナフライ。

11:40 エテル人イラ。エテル人ガレブ。

11:41 ヒッタイト人ウリヤ。アフライの子ザバデ。

11:42 ルベン人シザの子アディナ。彼はルベン人のかしらで、三十人を率いていた。

11:43 マアカの子ハナン。ミテニ人ヨシャファテ。

11:44 アシュタロテ人ウジヤ。アロエル人ホタムの子シャマとエイエル。

11:45 ティツ人シムリの子エディアエルとその兄弟ヨハ。

11:46 マハウィム人エリエル。エルナアムの子エリバイとヨシャウヤ。モアブ人イテマ。

11:47 エリエル、オベデ、メツオバヤ人ヤシエル。

「あの三人には及ばなかった」ということばが印象的です。大きな戦火を上げたにも関わらず、もっと大きな功績があるということです。それは

神様の栄光を表すということです。神様の力によって勝利が与えられるものだからです。三勇士は神のしもべたるダビデを尊重し、それゆえにダビデは彼らの戦果を主にささげることができたのです。信仰の信頼関係が主の栄光を表します。それが功績なのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



12:1 ダビデがまだキシユの子サウルから身を避けていたとき、ツィクラグの彼のもとにきた人たちは次のとおりである。彼らは、勇士たちの中で戦いの加勢をした人たちであり、12:2 弓を取る者で、右手でも左手でも石を投げたり弓を射たりでき、サウルの同族ベニヤミンの出であった。

12:3 かしらはアヒエゼル、次はヨアシュ。彼らはギブア人シェマアの子。エジエルとベレテ。彼らはアズマウエテの子。ベラカとアナトテ人エフー。

12:4 ギブオン人イシュマヤ、彼は三十人の中の勇士で、三十人の長であった。次に、エレミヤ、ヤハジエル、ヨハナン、ゲデラ人エホザバデ、

12:5 エルウザイ、エリモテ、ベアルヤ、シエマルヤ、ハリフ人シェファテヤ、

12:6 エルカナ、イシヤ、アザエル、ヨエゼル、ヤシヨブアム。これらはコラ人である。

12:7 ヨエラとゼバデヤ。これらはゲドル出身のエロハムの子である。

12:8 また、ガド人から離れて、荒野の要害にいたダビデのもとにきた人たちは、勇士で戦いにたけた人たちであり、大盾と槍の備えがあった。彼らの顔は獅子の顔で、速く走ること山のかもしかのようであった。

12:9 そのかしらはエゼル。第二はオバデヤ。第三はエリアブ。

12:10 第四はミシュマナ。第五はエレミヤ。

12:11 第六はアタイ。第七はエリエル。

12:12 第八はヨハナン。第九はエルザバデ。

12:13 第十はエレミヤ。第十一はマクバナイ。

12:14 これらはガド族から出た軍のかしらた

ちで、その最も小さい者も、一人が百人に匹敵し、最も大いなる者は千人に匹敵した。

12:15 この人たちは、第一の月、すなわちヨルダン川がどの岸もいっぱいにあふれるとき、これを渡った者たちである。彼らは、谷にいた人々をすべて東に西に追い散らした。

12:16 ベニヤミンとユダの子孫からも、要害のダビデのもとにきた人たちがいた。

12:17 ダビデは彼らの前に出て行き、彼らに答えて言った。「もし、あなたがたがやって来たのが平和のためであり、私を助けようとするのなら、私の心はあなたがたと一つだ。しかし、もし、私の手に暴虐がないのに、私をだまして、私の敵に渡すためなら、私たちの父祖の神がそれを見て、責められますように。」

12:18 そのとき、御霊が補佐官の長アマサイをおおった。「ダビデよ、私たちはあなたの味方。エッサイの子よ、私たちはあなたとともにいる。平安があるように。あなたに平安があるように。あなたを助ける者に平安があるように。まことにあなたの神はあなたを助ける。」ダビデは彼らを受け入れ、部隊のかしらとした。

12:19 ダビデがベリシテ人とともに、サウルとの戦いに出たとき、マナセからも何人かの者がダビデのもとに下って来た。しかし彼らはベリシテ人を助けなかった。ベリシテ人の領主たちが協議をし、「彼はわれわれの首を持って、主君サウルのもとに投降するだろう」と言って、彼を送り返したからである。

12:20 ダビデがツィクラグに行ったとき、マナセからアデナフ、エホザバデ、エディア

エル、ミカエル、エホザバデ、エリフ、ツィレタイが彼のもとに下って来た。彼らはマナセに属する千人隊のかしらであった。

12:21 彼らはダビデを助けて、あの略奪隊に対抗した。みな勇士であり、軍に負ける長であった。

12:22 人々はダビデを助けるため、日に日に彼のもとに来て、ついに神の陣営のような大陣営となった。

ダビデを助けた勇士たちは、君主のためによく備えて訓練していました。ダビデはイエス様のひな型ですから、新約的にはイエス様のために訓練することが必要であるとわかります。主のために訓練しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

